

知財ist研修2019シラバス

【知財ist研修2019】	
課程	実務課程
科目	企業に貢献する知的財産の活用
副題	～真の発明（技術）の把握が紛争の成否を左右する。技術の本質を追究する能力を習得～
日程	2019年10月2日（水） 10:00～17:00
講師	株式会社メルコホールディングス顧問 株式会社ワイゼル顧問 青山 高美 氏
科目別受講料	会員18,000円、一般22,000円（消費税含む、テキスト代含む）
おまとめ受講料	全課程おまとめ受講料（47日間） 会員500,000円、一般600,000円 実務・訴訟・海外おまとめ受講料（19日間） 会員280,000円、一般350,000円 実務課程おまとめ受講料（8日間） 会員130,000円、一般162,000円
説明	<p>企業に貢献する知的財産の活用とは何か？トヨタをはじめいくつかの企業の具体的な知的財産活動の事例を紹介、分析し、知的財産が企業にどのように貢献しているかを解説いたします。また技術の本質を追究する演習を通じて、発明の保護、強力な権利行使や交渉折衝、訴訟戦術等を学びます。</p> <p>今回の研修では、知的財産の活用としてオープンポリシーだけではなく、無償公開の戦略が、単に知財の世界ではなく、国家を動かし事業の大きな飛躍に結び付き、同時に世界レベルで社会に貢献する戦略の一つにもなる事例として、プリウスハイブリッドについて、詳しく説明いたします。</p> <p>また、プリウスの事例は、特許庁の推進する「デザイン経営」につながるケーススタディとして紹介いたします。</p>
レポート、演習の有無等	講義時間内において演習を行います。
事前質問について（研修日より1週間前まで）	研修当日に、講師にお聞きになりたい事項等ございましたら、9/25までにメール（chizaist@jiii.or.jp宛）にて承ります。 （ご質問の内容によっては、講義時に講師より直接説明を求められる場合もございます。）

知財ist研修2019シラバス

<p>研修項目予定 (昨年度目次例等)</p>	<p>I. はじめに 1. 企業とは 2. 特許が関与した事例 II. 本業と知的財産 1. 企業とは 2. 製造業における事業サイクル 3. 事業サイクルにおける知的財産の役割 4. 知的財産の役割 5. 事業成功への知財活動 6. 知的財産収益の位置づけ III. 知的財産戦略構想 1. 特許法の目的 2. 主要国の知的財産戦略 IV. トヨタ自動車の知的財産の取組み 1. トヨタ知的財産活動の歴史 2. トヨタの考え方 3. 製品開発に沿った知的財産活動 ハイブリッド車の開発と知財活動 4. 知恵を出す人を育てる風土</p>	<p>V. 主要企業の知的財産戦略 V-1 主な企業の知的財産戦略 1. 日立的知的財産戦略 社会イノベーション事業を支える知財戦略 2. 東芝の知的財産戦略 3. 薬品業界の知的財産戦略 4. 三鷹光器の知的財産戦略 5. IBMの知的財産戦略 V-2 まとめ VI. 創出した技術を守る – 技術の本質追求 – 1. 事例1 ノーベル賞技術に見る課題 2. 事例2 演習 エアマッサー装置 VII. 知的財産紛争の実態と課題 1. 知財紛争の考察 2. 知的財産訴訟の状況 3. 知的財産紛争の課題 VIII. 知財紛争の解決 1. 知財紛争の終結状況 2. 和解の効用 3. 信頼と誠意を IX. おわりに</p>
<p>参考書籍等</p>		
<p>過去受講された方々からの感想等</p>	<p>・実際に知財を企業内でどのように扱われているかで面白かった。 ・全体的に興味深い内容であった。特に「主要企業の知的財産戦略」は興味深かった。「中小企業の戦略」「海外主要企業の戦略」についても同様。グループ演習も有意義であった。 ・多くの事例を知ることができ、見識が広がったと思う。また、演習で、事例を検討する手段を学べたので良かったと思う。 ・課題と解決手段の考え方について勉強になりました。</p>	
<p>研修をご欠席される場合は。</p>	<p>・代理の方のご出席も可能です。事務局までご連絡願います。 ・ご欠席された場合は、研修にて使用したテキスト等配布資料を、後日、送付（ないし直接お渡し）いたします。 ・希望者は、講義（講師の声のみ）を録音したCDを借りることができます。但し本研修は、演習も行いますので、音声のみを聴講されても分かりにくいこともあるかと思ひます。実際にご出席いただくことをお勧めしております。CDについては、事前にご連絡いただき、直接事務局まで借りに来ていただいております。（返却は郵送でもかまいません。）（貸出期間約3週間、詳しくは事務局にお問い合わせください。）</p>	
<p>弁理士会継続研修</p>	<p>本科目は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると外部機関研修として、5.5単位が認められる予定です。</p>	

2019.7.19